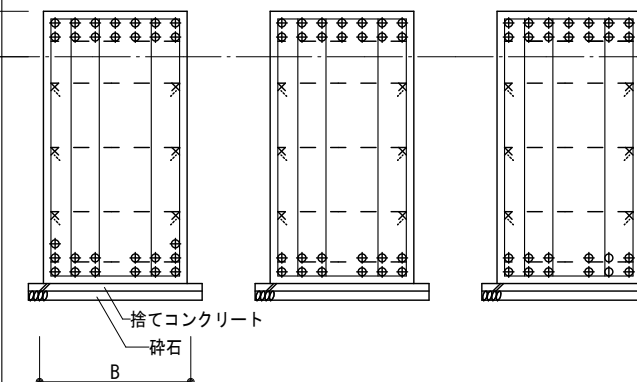
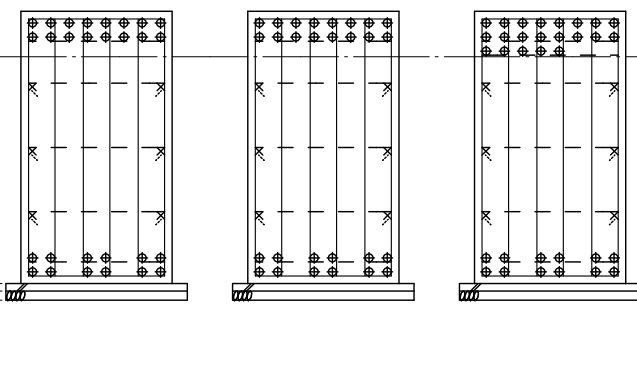
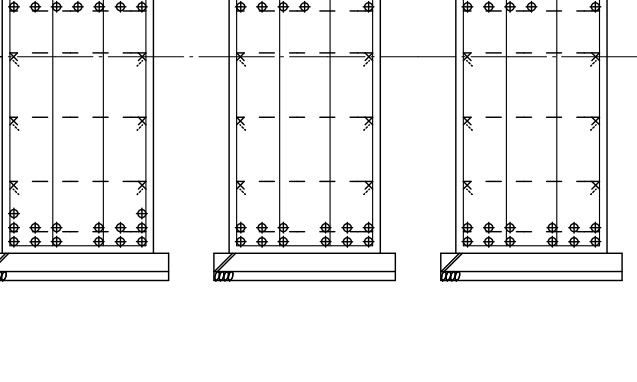
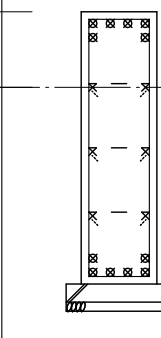
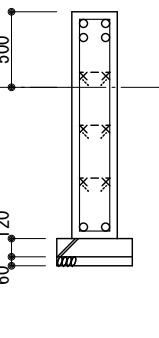
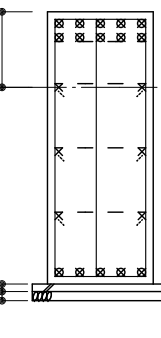
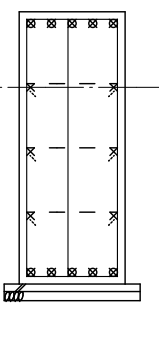
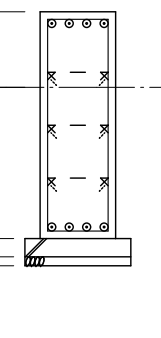
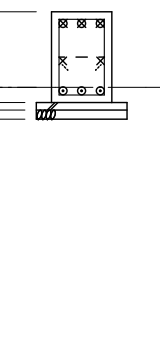
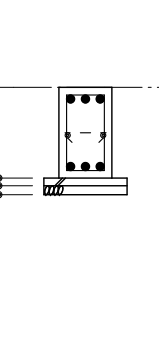


基礎梁リスト 1 : 50

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋 D10@1000
 - 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29～D35:SD390, K16 : SPR685
 - K16:高強度せん断補強筋SPR685(パワーリング)
 - 基礎梁主筋タイプはS-07図6-4Iによる。
 - カットオフ部分は通し配筋としても可とする。

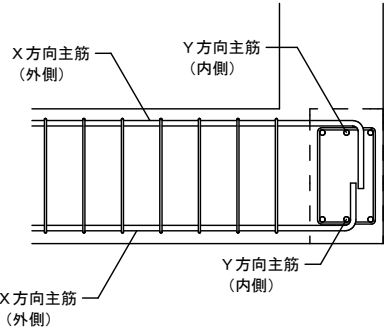
- 原則としてD35以上の主筋使用箇所は機械式定着工法とする。
但し、基礎梁下端1段目主筋については機械式定着工法は使用不可とする。
- 柱側面増打部に定着する主筋は2段筋までとし、機械式定着工法の使用も不可とする。
- 片持梁元端の上端2段筋は片持梁先端まで延長しても可とする。
その場合、2段筋の先端曲げ下げは不可とする。

符 号	FG1			FG2			FG3		
位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通・3通端	中央	2通端
断 面									
	B x D			1000 x 1,800			1000 x 1,800		
上端筋	14-D35	14-D35	14-D35	16-D35	16-D35	21-D35	14-D35	12-D35	12-D35
下端筋	14-D35	12-D35	12-D35	12-D35	12-D35	12-D35	14-D35	12-D35	12-D35
あばら筋	5▮-K16@150			6▮-K16@150			▮-K16@150		
腹筋	6-D13			6-D13			6-D13		
カットオフ長さ	L=2,650			L=3,150			L=3,500		
備 考	タイプ①			タイプ①			タイプ①		

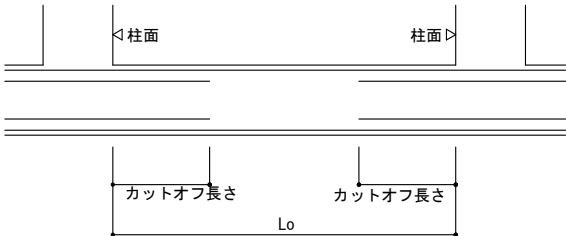
符 号	FG11		FCG1	FCG2		FCG3	FCG4	FCG5
位 置	全断面		全断面	元端	先端	全断面	全断面	全断面
断 面								
B x D	500 x 1,800		300 x 1,500	700 x 1,800		500 x 1,500	400 x 600	350 x 600
上端筋	6-D29		4-D22	10-D29	5-D29	4-D25	3-D29	3-D19
下端筋	6-D29		2-D22	5-D29	5-D29	4-D25	3-D25	3-D19
あばら筋	▮-D13@200		▮-D13@200	▮-D16@150		▮-D13@200	▮-D13@200	▮-D10@200
腹筋	6-D13		6-D13	6-D13		6-D13	2-D13	2-D10
カットオフ長さ	—		—	—		—	—	—
備 考	タイプ①					FG11と上端筋を通す 下端筋はD29でも可とする		

A_基礎梁01a 基礎梁の主筋納まり (X外外、Y内内)

基礎梁のレベルが同じレベルでX、Y方向の主筋が干渉する場合に適用する。



A_基礎梁02 基礎梁のカットオフ長さ



指定なき場合のカットオフ長さは 1/4Lo+15d (d: 主筋径) とする。

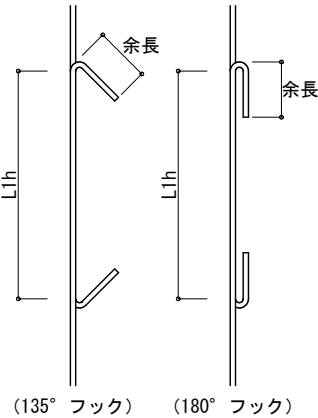
基礎梁あばら筋のフック付き重ね長さL1h

普通鉄筋はS-05図による。

Fc (N/mm ²)	L1h
27～30	50d
33～39	45d
42以上	40d

Fc: コンクリートの設計基準強度

d: 基礎梁スターラップの呼び方の値



記 事	— — — — —	法適合確認者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明 【構造関係規定に適合する】	大和ハウス工業株式会社 西日本中高層一級建築士事務所	承認 管理建築士 加田 光	照査 藤原 史郎 内藤 英治	代表となる設計者 一級建築士 378742号 品川 翔	工事名称	(仮称) 阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事	作成年月日 2023/06/12	提出回数
	— — — — —			その他の設計者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明	その他の設計者 一級建築士 第372229号 石原 将穂		図面名称	基礎梁リスト	縮尺 1 : 50	図面番号 S-27
	— — — — —									

柱リスト（1） 1：50						
特記なき限り下記による 1. 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390, K13：SPR685 2. K13: 高強度せん断補強筋SPR685(パワーリング) 3. -----は幅止筋(D10@600)を示す。 4. 仕口部は仕口部置換表をもとに変更可とする。但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。						
階	符 号	C1	C2	C3	C4	C5
2	仕口部帯筋	□-D13@80	田-D13@100	□-D13@80	□-D13@80	□-D13@80
	断 面					
	Dx x Dy	1000 x 900	1100 x 1600	1000 x 900	1000 x 900	1000 x 900
	主 筋	14-D29 + 10-D25	22-D29 + 10-D25	12-D29 + 6-D25	24-D29	24-D29
	帯筋	目-D13@100	6田-D13@100	目-D13@100	目-D13@100	□-K13@100
1	仕口部帯筋	□-D13@80	田-D13@100	□-D13@80	□-D13@80	□-D13@80
	断 面					
	Dx x Dy	1000 x 1000	1100 x 1600	1000 x 1000	1000 x 1000	1000 x 1000
	主 筋	26-D29	32-D29	22-D29	24-D29	24-D29
	帯筋	田-D13@100	6田-D13@100	田-D13@100	田-D13@100	田-K13@100
	仕口部帯筋	□-D13@80	田-D13@100	□-D13@80	□-D13@80	□-D13@80

A_柱01b	柱配筋 共通事項（建物高さ20m超の場合）	A_柱02a	柱段差部（e/D≦1/6）												
帯筋形状	溶接閉鎖型とする。 副帯筋はフック型もしくは溶接閉鎖型とする。														
仕口部帯筋	pW≧0.3%とし、フック型もしくは溶接閉鎖型とする。 ※定着板使用の場合のpWの下限値はメーカー仕様による。														
A_柱03	仕口部内帯筋範囲	A_柱05	仕口部置換表												
		<div>・下記内容をもとに仕口部帯筋の鉄筋径、ピッチを変更可とする。 但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。 ・当部品図は仕口部帯筋pW≧0.3%を満足させるものとする。 ・帯筋は「X方向またはY方向本数-鉄筋径@ピッチ」の記載方法とする。</div> <table><tr><th>D13採用（原設計）</th><th>D16採用</th></tr><tr><td>2-D13@ 90</td><td rowspan="3">2-D16@100</td></tr><tr><td>2-D13@ 80</td></tr><tr><td>3-D13@100</td></tr><tr><td>3-D13@ 90</td><td>2-D16@ 90</td></tr><tr><td>3-D13@ 80</td><td>2-D16@ 80</td></tr><tr><td>4-D13@100</td><td>2-D16@ 80</td></tr></table>		D13採用（原設計）	D16採用	2-D13@ 90	2-D16@100	2-D13@ 80	3-D13@100	3-D13@ 90	2-D16@ 90	3-D13@ 80	2-D16@ 80	4-D13@100	2-D16@ 80
D13採用（原設計）	D16採用														
2-D13@ 90	2-D16@100														
2-D13@ 80															
3-D13@100															
3-D13@ 90	2-D16@ 90														
3-D13@ 80	2-D16@ 80														
4-D13@100	2-D16@ 80														

記事	-----	-----	-----	-----	-----	法適合確認者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明 【構造関係規定に適合する】
	-----	-----	-----	-----	-----	大和ハウス工業株式会社 西日本中高層一級建築士事務所
	-----	-----	-----	-----	-----	
	-----	-----	-----	-----	-----	

承認 管理建築士 加田 光	照査 藤原 史郎 内藤 英治	代表となる設計者 一級建築士 378742号 品川 翔	工事名称 （仮称）阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事	作成年月日 2023/06/12	提出回数
その他の設計者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明	その他の設計者 一級建築士 第372229号 石原 修輔	工面名称 柱リスト（1）		縮尺 1：50	図面番号 S-30

柱リスト (2)1 : 50

特記なき限り下記による
1. 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390, K13 : SPR685
2. K13: 高強度せん断補強筋SPR685(ハワーリング)
3. -----は幅止筋 (D10@600)を示す。
4. 仕口部は仕口部置換表をもとに変更可とする。但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。

階	符 号	C1	C2	C3	C4	C5
	仕口部帯筋	□-D13@90	田-D13@100	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@90
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 900	1100 x 1600	1000 x 800	900 x 900	900 x 900
	主 筋	14-D25 + 6-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	22-D25	20-D25
	帯筋	□-D13@100	田-D13@100	□-D13@100	田-D13@100	□-K13@100
3	仕口部帯筋	□-D13@90	田-D13@100	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@80
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 900	1100 x 1600	1000 x 800	900 x 900	1000 x 900
	主 筋	14-D29 + 8-D22	32-D25	12-D25 + 6-D22	14-D29 + 8-D25	14-D29 + 8-D25
	帯筋	田-D13@100	5田-D13@100	田-D13@100	田-D13@100	□-K13@100

A_柱01b柱配筋 共通事項 (建物高さ20m超の場合)

柱幅800以上かつ副帯筋がない場合、幅止め筋 D10@600以内とする。

溶接閉鎖型とする。

副帯筋はフック型もしくは溶接閉鎖型とする。
柱幅800以上かつ副帯筋がない場合、幅止め筋 D10@600とする。

A_柱02a柱段差部 (e/D≦1/6)

二重帯筋 (束ね筋)

下階柱面に第1あばら筋

二重帯筋 (束ね筋)

A_柱03仕口部内帯筋範囲

n階柱 帯筋範囲

SL

仕口部内 帯筋範囲

(n-1)階柱 帯筋範囲

直交梁

(n-1)階柱

n階梁

A_柱05仕口部置換表

・下記内容をもとに仕口部帯筋の鉄筋径、ピッチを変更可とする。
但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。
・当部品図は仕口部帯筋pw≧0.3%を満足させるものとする。
・帯筋は「X方向またはY方向本数-鉄筋径@ピッチ」の記載方法とする。

D13採用 (原設計)	D16採用
2-D13@ 90	2-D16@100
2-D13@ 80	
3-D13@100	
3-D13@ 90	2-D16@ 90
3-D13@ 80	2-D16@ 80
4-D13@100	2-D16@ 80

記事

法適合確認者
一級建築士 第308020号
構造設計一級建築士 第2669号
山内 正明
【構造関係規定に適合する】

大和ハウス工業株式会社
西日本中高層一級建築士事務所

承認 管理建築士
加田 光

照査
藤原 史郎
内藤 英治

代表となる設計者
一級建築士 378742号
品川 翔

その他の設計者
一級建築士 第308020号
構造設計一級建築士 第2669号
山内 正明

その他の設計者
一級建築士 第372229号
石原 将穂

工事名称
(仮称) 阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事

図面名称
柱リスト (2)

作成年月日
2023/06/12

縮尺
1 : 50

提出回数
S-31

様式NO. HAC-140C

柱リスト (3)1 : 50

特記なき限り下記による
1. 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390, K13 : SPR685
2. K13: 高強度せん断補強筋SPR685(パワーリング)
3. -----は幅止筋 (D10@600)を示す。
4. 仕口部は仕口部置換表をもとに変更可とする。但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。

階	符 号	C1	C2	C3	C4	C5
	仕口部帯筋	□-D13@90	▤-D13@80	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@90
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 800	1000 x 1500	1000 x 800	900 x 800	900 x 800
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 4-D19	12-D25 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-K13@100
7	仕口部帯筋	□-D13@90	▤-D13@100	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@90
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 800	1000 x 1600	1000 x 800	900 x 800	900 x 800
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 4-D19	12-D25 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-K13@100
6	仕口部帯筋	□-D13@90	▤-D13@100	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@90
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 800	1000 x 1600	1000 x 800	900 x 800	900 x 800
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 4-D19	12-D25 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-K13@100
5	仕口部帯筋	□-D13@90	▤-D13@100	□-D13@80	□-D13@90	□-D13@90
	断 面					
	Dx x Dy	900 x 900	1100 x 1600	1000 x 800	900 x 900	900 x 900
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 6-D22	12-D25 + 6-D22
	帯筋	▤-D13@100	▤-D13@100	▤-D13@100	▤-D13@100	□-K13@100

A_柱01b柱配筋 共通事項 (建物高さ20m超の場合)

柱幅800以上かつ副帯筋がない場合、幅止め筋 D10@600以内とする。

溶接閉鎖型とする。

副帯筋はフック型もしくは溶接閉鎖型とする。
柱幅800以上かつ副帯筋がない場合、幅止め筋 D10@600とする。

A_柱02a柱段差部 (e/D≤1/6)

二重帯筋 (束ね筋)

下階柱面に第1あばら筋

二重帯筋 (束ね筋)

A_柱03仕口部内帯筋範囲

A_柱05仕口部置換表

・下記内容をもとに仕口部帯筋の鉄筋径、ピッチを変更可とする。
但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。
・当部品図は仕口部帯筋pw≥0.3%を満足させるものとする。
・帯筋は「X方向またはY方向本数-鉄筋径@ピッチ」の記載方法とする。

D13採用 (原設計)	D16採用
2-D13@ 90	2-D16@100
2-D13@ 80	
3-D13@100	
3-D13@ 90	2-D16@ 90
3-D13@ 80	2-D16@ 80
4-D13@100	2-D16@ 80

記事

法適合確認者
一級建築士 第308020号
構造設計一級建築士 第2669号
山内 正明
【構造関係規定に適合する】

大和ハウス工業株式会社

西日本中高層一級建築士事務所

承認 管理建築士
加田 光

照査 史郎 英治
藤原 内藤

代表となる設計者
一級建築士 378742号
品川 翔

工事名称 (仮称) 阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事

図面名称 柱リスト (3)

その他の設計者
一級建築士 第308020号
構造設計一級建築士 第2669号
山内 正明

その他の設計者
一級建築士 第372229号
石原 将穂

作成年月日 2023/06/12

提出回数

縮尺 1 : 50

図面番号 S-32

様式NO. HAC-140C

柱リスト (4) 1 : 50

- 特記なき限り下記による
- 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390, K13 : SPR685
 - K13:高強度せん断補強筋SPR685(パワーリング)
 - は幅止筋(D10@600)を示す。
 - 仕口部は仕口部置換表をもとに変更可とする。但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。

階	符 号	C1	C2	C3	C4	C5
10	仕口部帯筋	□-D13@100	▤-D13@80	□-D13@80	□-D13@100	□-D13@100
	断 面					
	Dx x Dy	800 x 700	1000 x 1500	1000 x 700	800 x 700	800 x 700
	主 筋	12-D22 + 4-D19	32-D22	12-D22 + 6-D19	12-D22 + 4-D19	12-D22 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
9	仕口部帯筋	□-D13@100	▤-D13@80	□-D13@80	□-D13@100	□-D13@100
	断 面					
	Dx x Dy	800 x 700	1000 x 1500	1000 x 700	800 x 700	800 x 700
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 4-D19	12-D25 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	▤-D13@100
8	仕口部帯筋	□-D13@100	▤-D13@80	□-D13@80	□-D13@100	□-D13@100
	断 面					
	Dx x Dy	800 x 800	1000 x 1500	1000 x 700	800 x 800	800 x 800
	主 筋	12-D25 + 4-D19	22-D25 + 10-D22	12-D25 + 6-D19	12-D25 + 4-D19	12-D25 + 4-D19
	帯筋	□-D13@100	▤-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-K13@100

A_柱04 最上階柱頭納まり

柱主筋を全数フックとし、下段の梁主筋を押さえる拘束筋（隅部を除く柱主筋に重ねる）を挿入した上、直交する上段の梁主筋を押さえる拘束筋（柱主筋に重ねる）を挿入する。

A-断面

A_柱05 仕口部置換表

・下記内容をもとに仕口部帯筋の鉄筋径、ピッチを変更可とする。
但し、置換する場合には工事監理者の承認を得ること。
・当部品図は仕口部帯筋 $\rho_w \geq 0.3\%$ を満足させるものとする。
・帯筋は「X方向またはY方向本数-鉄筋径@ピッチ」の記載方法とする。

D13採用（原設計）	D16採用
2-D13@ 90	2-D16@100
2-D13@ 80	
3-D13@100	
3-D13@ 90	2-D16@ 90
3-D13@ 80	2-D16@ 80
4-D13@100	2-D16@ 80

大梁リスト(1) 1 : 50

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋 D10@1000
 - 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29～D32 : SD390, K13 : SPR685
 - K13 : 高強度せん断補強筋SPR685 (パワーリング)
 - カットオフ部分は通し配筋としても可とする。

階	符 号	G1			G2			G3				G11
	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
3	断 面											
	B x D	650 x 800			650 x 800			650 x 800				350 x 650
	上端筋	9-D32	6-D32	10-D32	10-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	9-D32		3-D19
	下端筋	8-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	8-D32	8-D32	6-D32	8-D32		3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 300				-
2	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
	断 面											
	B x D	650 x 800			650 x 800			650 x 800				400 x 650
	上端筋	9-D32	6-D32	10-D32	10-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	9-D32		3-D19
	下端筋	8-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	8-D32	8-D32	6-D32	8-D32		3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150				□-D13@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 300				-

A_大梁01a大梁の主筋納まり (X外外、Y内内)

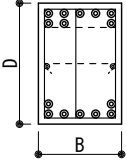
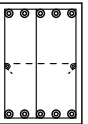
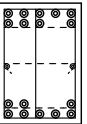

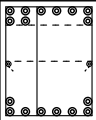
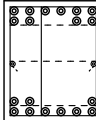
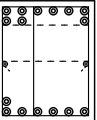
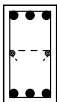
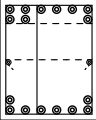
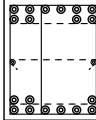
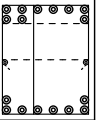
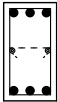
大梁のレベルが同じレベルでX、Y方向の主筋が干渉する場合に適用する。

A_大梁02大梁のカットオフ長さ

指定なき場合のカットオフ長さは 1/4L0+15d (d : 主筋径) とする。

大梁リスト(2) 1 : 50

- 特記なき限り下記による
- 1. 幅止筋 D10@1000
 - 2. 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29～D32 : SD390, K13 : SPR685
 - 3. K13 : 高強度せん断補強筋SPR685 (パワーリング)
 - 4. カットオフ部分は通し配筋としても可とする。

階	符 号	G1			G2			G3				G11
	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
6	断 面											
	B x D	550 x 800			550 x 800			550 x 800				350 x 650
	上端筋	8-D32	5-D32	9-D32	9-D32	5-D32	8-D32	8-D32	5-D32	8-D32		3-D19
	下端筋	7-D32	5-D32	8-D32	8-D32	5-D32	7-D32	6-D32	5-D32	6-D32		3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 300				-
5	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
	断 面											
	B x D	650 x 800			650 x 800			650 x 800				350 x 650
	上端筋	9-D32	6-D32	10-D32	10-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	9-D32		3-D19
	下端筋	8-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	8-D32	7-D32	6-D32	7-D32		3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 300				-
4	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
	断 面											
	B x D	650 x 800			650 x 800			650 x 800				350 x 650
	上端筋	9-D32	6-D32	10-D32	10-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	9-D32		3-D19
	下端筋	8-D32	6-D32	9-D32	9-D32	6-D32	8-D32	8-D32	6-D32	8-D32		3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 300				-

記 事	-----	法適合確認者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山 内 正 明 【構造関係規定に適合する】	大和ハウス工業株式会社 西日本中高層一級建築士事務所	承認 管理建築士 加田 光	照査 藤原 史郎 内藤 英治	代表となる設計者 一級建築士 378742号 品川 翔	工事名称 ----- (仮称) 阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事	作成年月日 2023/06/12	提出回数
	-----			その他の設計者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明	その他の設計者 一級建築士 第372229号 石原 将稀			縮尺 1 : 50	図面番号 S-35
	-----						図面名称 大梁リスト (2)		

大梁リスト(3) 1 : 50

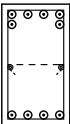
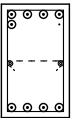

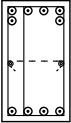
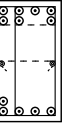
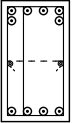

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋 D10@1000
 - 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29～D32 : SD390, K13 : SPR685
 - K13 : 高強度せん断補強筋SPR685 (パワーリング)
 - カットオフ部分は通し配筋としても可とする。

階	符 号	G1			G2			G3			G11
		1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端	
9	断 面										
	B x D	450 x 800			450 x 800			450 x 800			350 x 650
	上端筋	6-D29	4-D29	7-D29	7-D29	4-D29	7-D29	6-D29	4-D29	6-D29	3-D19
	下端筋	5-D29	4-D29	6-D29	6-D29	4-D29	5-D29	5-D29	4-D29	5-D29	3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150			□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 500			L=2, 500			L=1, 950			-
8	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端	全断面
	断 面										
	B x D	550 x 800			550 x 800			550 x 800			350 x 650
	上端筋	8-D29	5-D29	8-D29	8-D29	5-D29	8-D29	7-D29	5-D29	7-D29	3-D19
	下端筋	6-D29	5-D29	7-D29	7-D29	5-D29	6-D29	6-D29	5-D29	6-D29	3-D19
	あばら筋	□-K13@150			□-K13@150			□-K13@150			□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 500			L=2, 500			L=2, 100			-
7	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端	全断面
	断 面										
	B x D	550 x 800			550 x 800			550 x 800			350 x 650
	上端筋	8-D32	5-D32	9-D32	9-D32	5-D32	8-D32	7-D32	5-D32	7-D32	3-D19
	下端筋	7-D32	5-D32	8-D32	8-D32	5-D32	7-D32	6-D32	5-D32	6-D32	3-D19
	あばら筋	□□-K13@150			□□-K13@150			□□-K13@150			□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10
	カットオフ長さ	L=2, 750			L=2, 750			L=2, 100			-

記 事	-----	法適合確認者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山 内 正 明 【構造関係規定に適合する】	大和ハウス工業株式会社 西日本中高層一級建築士事務所	承認 管理建築士 加田 光	照査 藤原 史郎 内藤 英治	代表となる設計者 一級建築士 378742号 品川 翔	工事名称 ----- (仮称) 阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事	作成年月日 2023/06/12	提出回数
	-----			その他の設計者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明	その他の設計者 一級建築士 第372229号 石原 将穂			縮尺 1 : 50	図面番号 S-36
	-----						図面名称 大梁リスト (3)		

大梁リスト(4) 1 : 50

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋 D10@1000
 - 鉄筋材質 D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
 - カットオフ部分は通し配筋としても可とする。

階	符 号	G1			G2			G3				G11
	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
R	断 面											
	B x D	450 x 800			450 x 800			450 x 750				350 x 650
	上端筋	5-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	5-D25		3-D22
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		3-D22
	あばら筋	□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	1/4Lo+15d			1/4Lo+15d			1/4Lo+15d				-
10	位 置	1通端	中央	2通端	2通端	中央	3通端	1通, 3通端	中央	2通端		全断面
	断 面											
	B x D	450 x 800			450 x 800			450 x 800				350 x 650
	上端筋	6-D25	4-D25	7-D25	7-D25	4-D25	7-D25	6-D25	4-D25	6-D25		3-D19
	下端筋	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25		3-D19
	あばら筋	□□-D13@150			□□-D13@150			□□-D13@150				□-D10@200
	腹 筋	2-D10			2-D10			2-D10				2-D10
	カットオフ長さ	L=1950			L=2100			1/4Lo+15d				-

記 事	-----	-----	法適合確認者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明 【構造関係規定に適合する】	大和ハウス工業株式会社 西日本中高層一級建築士事務所	承認 管理建築士 加田 光	照査 藤原 史郎 内藤 英治	代表となる設計者 一級建築士 378742号 品川 翔	工事名称 （仮称）阿倍野区三明町2丁目マンション新築工事	作成年月日 2023/06/12	提出回数
	-----	-----			その他の設計者 一級建築士 第308020号 構造設計一級建築士 第2669号 山内 正明	その他の設計者 一級建築士 第372229号 石原 将穂			縮尺 1 : 50	図面番号 S-37
	-----	-----						図面名称 大梁リスト（4）		
	-----	-----								